

平成14年度 公共事業再評価調書（担い手育成基盤整備事業）

（事業着手後 5年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年11月27日
所管部課名	農林水産部 農地整備課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点																														
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み]																														
<p>[地区名]</p> <p>くろかわ 黒川</p> <p>[所在地]</p> <p>横手市</p>	<p>[事業の目的]</p> <p>土地利用型農業の確立を図るため、担い手農家等による大規模な農業経営が行われる見込みのある地域で大区画の高生産性ほ場整備を実施し、生産性の向上と生産コストの低減を図るとともに、連担的農地の集積を促進し、望ましい担い手の育成・確保を図る。</p> <p>[総合計画上の位置付け]</p> <p>「あきた21総合計画」では、国際化の急激な進展に対応しうる生産性の高い農業とこれを支える活力ある農村を確立するため生産基盤であるほ場の整備をH12～22の11年間に14,500ha整備率76%を目標に整備する。特に、計画前期のH12～14の3年間に4,500haを整備する。</p>	<p>[事業の経緯]</p> <p>H9 事業採択 H10 工事着手 (H14 面工事完了予定) (H17 換地処分、完了予定)</p> <p>[進捗状況]</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>全体</th> <th>H14まで</th> <th>進捗率</th> </tr> <tr> <td>区画整理</td> <td>332.4ha</td> <td>302.6ha</td> <td>91.0%</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>4,455</td> <td>3,373</td> <td>75.7%</td> </tr> </table> <p>[長期継続の理由]</p> <p>予算の制約に加え、地区が大規模なことから期間を要している。</p>	区分	全体	H14まで	進捗率	区画整理	332.4ha	302.6ha	91.0%	事業費	4,455	3,373	75.7%	<p>[社会経済情勢の変化]</p> <p>農産物の輸入自由化や米価の下落により、農家の経営が厳しさを増していることから生産コストの低減が強く求められている。このため、本事業により農地の基盤を早急に整備し、担い手等に農地の集積を図るとともに、労働時間の短縮や営農経費の節減により、生産性の高い営農を進めることが急務である。</p> <p>[地元の意向]</p> <p>平成10年4月に平鹿管内の8農協による合併がなされ、「JA秋田ふるさと」が発足し水稲のほか畑作物の生産性向上と農業指導が強化された。また、横手市ではほ場の大区画化に伴う農作業の労働時間短縮のため、農家23名で「横手市直播研究会」を発足させ整備されたほ場を活用した直播技術の確立に取り組んでいるほか、稲作を基幹とした畑作物を取り入れた複合経営を進めるため、戦略作物としてアスパラガス、トマト、枝豆等の作付振興を進め、土地集約型農業の高生産性に努め、アスパラガスは県内有数の栽培面積を誇るとともに、品質においても高い評価を得ているところであり、事業の早期完成を強く望んでいる。</p> <p>[環境対策]</p> <p>「農業農村整備環境対策指針」に基づき保全すべき環境を確認の上事業推進している。本地区では、環境関連法令に係わる事項は特になし。</p>	<p>[整備効果]</p> <p>ほ場整備事業を契機にH13年度までに上野生産組合と農事組合法人「おちあい」が結成され、更に14年度内に3生産組合が設立される予定であり、農業機械の共同化や農作業の省力化が図られ、生産コストの軽減が促進すると期待されている。また、転作田の効率的な活用と複合経営の促進を図るため「あなたと地域の農業夢プラン」を活用し農事組合法人「おちあい」で大豆コンバインを導入するほか、「横手市直播研究会」に地区の担い手4名が参加し、生産コストの軽減と作業の省力化に努めている。</p> <p>担い手経営面積</p> <table border="1"> <tr> <td>担い手農家</td> <td>3戸</td> </tr> <tr> <td>生産組合</td> <td>1組織</td> </tr> <tr> <td>農事組合法人</td> <td>1法人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>地区面積</th> <th>担い手経営</th> <th>シェア</th> </tr> <tr> <td>332.4ha</td> <td>84.7ha</td> <td>25.5%</td> </tr> </table> <p>[費用の変更]</p> <p>残事業の見直しによる減。</p> <p>[効果の変化]</p> <p>事業の効果に変化はない。</p> <p>[費用対効果]</p> <table border="1"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.16</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>1.21</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	担い手農家	3戸	生産組合	1組織	農事組合法人	1法人	地区面積	担い手経営	シェア	332.4ha	84.7ha	25.5%	計画時	1.16	再評価時	1.21	採択基準	1.00	<p>[事業進捗の見込み]</p> <p>H16年度までに主要工事を終え、H17年度に補完工事や換地処分を実施し完了する予定である。</p> <p>3 コスト縮減や代替案立案等の可能性の観点</p> <p>[コスト縮減の可能性]</p> <p>逆田修正に要する用土を他事業の残土を利用することによりコスト縮減を図りながら事業の進捗を図る。</p> <p>[代替案立案の可能性]</p> <p>なし。</p>
区分	全体	H14まで	進捗率																																
区画整理	332.4ha	302.6ha	91.0%																																
事業費	4,455	3,373	75.7%																																
担い手農家	3戸																																		
生産組合	1組織																																		
農事組合法人	1法人																																		
地区面積	担い手経営	シェア																																	
332.4ha	84.7ha	25.5%																																	
計画時	1.16																																		
再評価時	1.21																																		
採択基準	1.00																																		
再評価の結果		対応方針（案）及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見																															
<p>継続・中止</p>		<p>[対応方針（案）]</p> <p>平成17年度に換地処分を実施し、完了を図る。</p> <p>[理由]</p> <p>平成13年度までに完了した面工事区域については、既に作付が行われている。また、H14年度までには面工事を終え、その後、地元要望に応えるための補完工事を実施することとしており、事業を推進する上で支障もなく、平成17年度に換地処分を実施し完了することが可能である。</p>		<p>継続は妥当と認める。</p>																															